



芝のグラウンド。素足で玉入れできたよ。 七滝中央小学校（9月23日）

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

特集 議会報告会	2
受診者の増加策に表彰制度を（あおぞら会議）	13
集まるのが楽しい、元気クラブ	14



10会議に211人参加

若い人の参加を増やす努力を

議会報告会特集号をお届けします。議会報告会に参加されました皆様、ご協力ありがとうございました。

各地区で出された質問等を地区ごとに編集しました。そのため重複した質問や解答もありますがご了承ください。

地区名	出席委員会名等	参加人数	場 所	開 催 日
田代東部	総務常任委員会	15	田代東部分館	5月14日（月）
田代西部	民生文教常任委員会	17	田代西部分館	
小 坂	産業建設常任委員会	10	小坂分館	
木 倉	総務常任委員会	27	木倉分館	5月15日（火）
高 木	民生文教常任委員会	16	下高野公民館	
水 越	産業建設常任委員会	12	水越分館	
滝 尾	総務常任委員会	22	滝尾分館	5月16日（水）
七 滝	民生文教常任委員会	30	七滝分館	
上 野	産業建設常任委員会	27	上野分館	
御 船	全議員	35	カルチャーセンター	5月17日（木）
合 計		211		

Q 今回の議会報告会での結果を来年度回答してほしい。

A 平成24年9月発行の議会だよりを「議会報告会特集号」とし、できる限り町民の意見等を掲載し全世帯に配布します。前年度の報告については、次回の議会報告会の開催方法を含め全員協議会で協議していきます。

Q 御船で開催された報告会では御船地区の住民の方の発言時間が不足しました。地区住民が優先的に発言できる体制にして欲しい。

A 来年度に向け検討していきます。

Q 議会報告会を、もう少し町民に関心を持ってもらうことが大事です。参加者を増やす努力をしてほしい。次

回の報告会のときは、今回出たことがどうなっていたかの報告をしてほしい。何も変わらなければ誰も次から来ないのではないかな。

聞いたことに対して、どうだったかを教えて欲しい。

A 議会報告会で出された要望や質問はわからないこともあります。そのさいは、持ち帰って検討しています。

陳情は委員会で審議をし結論をだし、本会議で決定します。広報誌にも掲載します。仮に不採択だったならば、なぜそうなったのか。別の角度（要因）から考える必要があります。



若い人の参加が少ないと……



御船会場であいさつする岩田議長

全員協議会とは

Q 議会と全員協議会の違いは？

A 議会は議決をするところであり、全員協議会は本会議の前の段階で重要案件等を理解、共有するところです。議決のあるか、ないかが違います。

ごみ 夏だけでも2回収集を

Q 今年度、ごみ収集の委託費が増えたが、現在、山間地の収集は週1回。高齢者の多い地域なので、年寄のおしめなどゴミが多く、衛生上の問題もある。夏場だけでも2回にしてほしい。世帯数は少ないが、ゴミの量は一緒。検討をお願いしたい。

A （みず環境課）現在、焼却ごみの量を減らすということから、生ごみ、し尿などを利用した堆肥化など循環型社会形成の検討や、ごみ、火葬、し尿を広域処理での検討も併せて行っており、その中で今後のごみ処理、収集体制も含めた検討を行っています。

また、生ごみ減量のため電気式処理機、堆肥化容器の購入補助制度をご利用ください。

吉無田の活性化を

Q 吉無田南北道の箇所です無田・ひぐらし窯から緑の村の駐車場までの道は、地元の労力で使えるようになり、町道へ編入してほしいと陳情したが取り上げられなかった。

A 再度、陳情をしてほしい。

Q 平成16年に農業振興地域整備計画ができたが、平成22年に田代の6区が集まって再度一度お願いした。しかしまだ報告もない。計画の見直しをお願いしたい。

A （経済振興課）農業振興整備計画はおおむね5年ごとに見直しをしています。今回は平成20・21年にアンケートや地域座談会を行い見直しを実施しました。地域の皆様からいただいた要望等を整備計画に盛り込み、H22年10月に県の同意、及びH23年3月に議会の議決を得て新しい計画書を作成しました。新しい計画

書は農業委員会で閲覧できるようになっています。詳しいことは農業委員会へお尋ねください。

Q 化石広場には化石が入っている石がない。機械・重機を入れて山から石を出してほしい。

また、トイレもなく、手を洗う場所もない。（トイレはのんびり村の利用をお願いしている）

A （社会教育課）化石広場の地権者と協議のうえ、早急に化石を含んだ石の搬出作業を行います。（7月補正予算対応済み）

トイレについては、検討を行います。手洗い場については、水道を引く場合の手立てについて、近隣の沢から取水することについての検討が必要と思われます。（飲料水としての利用は不可能であると考える。）

緑の村との連携を図りながら観光面を含めて検討していきます。

どうなる、上野保育園バス

Q 上野保育園の送迎バスについて、議会でも陳情が採択されたがその後どうなったか。

A 審議の時期や子どもの数が未定なことなどで予算化が出来ていないようです。今後検討されていくと思います。

（福祉課）町は、2月に上野保育園在園児保護者及び平成24年度新規入園予定保護者28名に対し、アンケート調査を実施しました。

結果として、一部地区からの要望が多いことや農業従事者の要望が多い、また、送迎に時間が掛かると言っ

た地理的な特殊事情が背景にあること等が分かりました。

また、袴野小中学校の廃校問題があり、今後、現在の七滝中央小学校のスクールバスも含めたところで全体的に見直しの検討することが必要であるとし、平成24年度中に方向性を出すこととしています。

裁判の行方は

Q 竹バイオマスの件だが、誰が訴えられたのか？裁判費用は税金。議会から詳しく説明してほしい。

今はヤスジマ1社だが、他から訴えられたら同じ形になるのか？裁判費用も莫大になる。どれくらい発注しているのか？

A この件は、町が訴えられています。今日の議会（5月14日）での行政報告では移送に関するのみだった。詳細について私たちも内容は知りたかった。

発注業者からの損害なので、竹資源が事業主体、町は計画主体なので、応訴をすべきであるということで承認された。

熊本地裁に移送の申請をしているが、認められれば熊本地裁、認められなければ金沢地裁で行われる。

ヤスジマは御船竹資源開発から7億4千万円で受注した。事業は頓挫したが未払い金を含め約3億1,560万円損害がでたと主張と新聞にはある。（5月14日現在）

Q 3億円に対し、竹資源を告訴しているのか？

A 返還請求は続けているとのこと。



トイレや手洗い場のない化石広場

工事で傷んだ道路の補修は

Q 高速道路ができる関係で、広域農道を大型車が多く通行し、道路が傷んでくる。補修はどこがするのか。交付税に含まれているのか。

A 事業者は使用前の状態を把握しています。事業者の関係で道路が傷んだ場合は事業者が補修します。

また、交付税については、町道延長に基づき交付税の対象になっております。

Q 24年度の大規模事業である、都市再生整備事業の補助割合はどうなっているか。借金の場合の返済期間は何年か。

A 事業費は13億5千万円。補助割合は4割が交付金、6割が町の負担となっており、6割負担のうちの9割が借金となります。返済期間は約25年です。

Q 議員定数を2人削減するといくらぐらいの経費削減になるのか。

A 報酬金額で約700万円の削減となります。

ふれあい広場は

Q ふれあい広場の整備費は考えてあるか。

A 町民の意見を聞きながら計画を策定しています。事業費については、国起債、一般財源で対応することになります。人の配置は想定していません。

Q ふれあい広場は道の駅なのか。

A 道の駅ではなく、イベントができるような公園です。

Q 店舗などをたてて、第3セクター方式で運営するのと思っていた。公園に13億もかけるのか。

A 観光交流センター、恐竜博物館、まちなかギャラリー、ふれあい広場、道路の一部整備などをあわせて13億5千万円になる。補助金を使用する関係で様々な規制が出てきます。子

ども達が遊ぶ公園がない。

嘱託区の統廃合はどうなる

Q 嘱託区の統廃合はどうなっているか。山間地は戸数が少ないが範囲が広がる分大変だと思う。85嘱託区があり財政面を考えても統合を進めるべきだと思うが。

A モデル地区をつくって嘱託区を統合する予定です。

山間部だけでなく平坦部でも人口が多いところ少ないところがあります。

行政の方から案を示して進める方が早く進むのではないかと考えます。

Q 新聞にバイオマス関係の裁判の記事が載っていたが、会社に支払い能力があるのか。町の動きと議会の考え方は。議会ももう少し動いてほしい。

A 現在2つの裁判が起きています。住民から町が訴えられているものと、機械を受注した会社が竹資源開発㈱の役員と町を訴えているものです。受注会社から訴えられているものについては、金沢地裁で裁判をするということですが、町は熊本地裁での裁判を申し入れており当初4月17日に行われるはずの裁判が延期となりました。今後の行方がどうなるかはつきりわかりません。町は、会社を訴え、裁判所は会社に対し町に返すように判断を下しました。しかし、進展していないのが実情です。

Q 町は国に3億円返し肩代わりをした。受注会社から訴えられた裁判

に町が負けたらまた3億円返さないといけないのか。

A 受注先から訴えられた裁判については訴状を見ていませんので内容はわかりません。

Q 高齢化が進んでいるが、町で葬儀屋を運営することはできないか。

A 葬儀屋はできないかもしれないが、現在、御船町と甲佐町で運営している火葬場について今後の運営をどうするか将来を見据えて考える時期にきています。

上野保育園バスはどうなる

Q 上野保育園のバスに関する陳情の件は議会でも承認されたがその後どうなったか。

A 袴野中小学校の廃校問題があり、今後、現在の七滝中央小学校のスクールバスも含めたところで全体的に見直します。

Q 座女木から中学校に登校している生徒がいるが玉来までしかコミュニティバスが来ていない。

A コミュニティーバスとの調整が必要になります。

ファームポンドは

Q ファームポンドの問題はどうなっているか。

A 議会でもファームポンドの早期建設に関する陳情が採択されました。事業主体は県になるので今後、これまでにかかった費用を含め県に要望活動をする必要があります。



中山間地と御船市街地をむすぶコミュニティバス

中学校武道必修化、安全配慮は

Q 中学生の武道必修化について何か基準はあったのか。安全への配慮は？

A 教育委員会を通して御船中学校に聞いてもらいました。

中学校で検討した結果、経験及び指導力、子どもたちの実態、危険性、用具などを考え、剣道としました。1年生と2年生が8時間程度で3年生はありません。用具は教育委員会予算で購入します。安全への配慮は事故が起きないように万全を期します。



練習にはげむ御船中学生

議会アドバイザーからの具体的な指導は？

Q アドバイザーの田口先生から町の活性化につながる具体的なアドバイスはあるのか。アドバイザー料は払っているか。

A 具体的に町の活性化につながるようなアドバイスは受けていません。以前、御船町に宿泊施設を作れば視察受入れ時の宿泊や食事もできて相乗効果があるのではないかと言われた事があります。先生に対し、議員研修時の報酬及び交通費は払っていますが、アドバイス料は払っていません。

週2回のごみ収集を

Q ごみ収集の回収を祝祭日に関係なく週2回の収集はできないか。

A (みず環境課) ごみ箱の追加、修理は区長を通じて申請をお願いしています。焼却場が甲佐町と運営していますので、休日の収集については焼却場と甲佐町との協議が必要となります。

Q 御船町の都市再生計画はどうなっているか？

A 都市再生整備計画は13億5千万円の事業です。

(企画財政課) 都市再生整備事業費の13億5000万円の内訳は、交付金が5億4000万円、起債が6億8370万円、一般財源が1億2630万円となります。

自治基本条例は「まちの憲法」

Q 自治基本条例を今後どのように議会と整合性を図るのか。

A 日本国憲法の枠内で自治体の最高規範と言う位置づけです。御船町議会は、自治基本条例特別委員会を設置し条例策定に関わっていきたいと考えています。

どうなる恐竜博物館

Q 御船町の恐竜博物館の今後の運営方法は？

A 御船町の恐竜の化石の数は少ないが、貴重な化石が出ている。

(社会教育課) 他の博物館も参考に

している。「町民とともに成長する博物館」を目標に基本設計を進めている。規模は、2,000㎡以内で、年間来館者を4万人以上と想定している。展示関係は経費の上限があり、逐次、整備していく方針です。

Q 恐竜博物館、観光交流センター、ふれあい広場などの資料を住民に配布しては？

A 議会報告会等で資料として、配布できるものについては配布の方で考えます。

役場庁舎の節電対策は

Q 御船町役場の節電はどうなっているか？議場の電球をLED電球にできないか？

A (総務課) 昼休み時間は役場の電気は消してあります。①庁舎等の節電については、全職員に周知徹底を図り、全員体制で努めています。不必要な照明・PC機器等は指導を徹底している。残業については、勤務実態調査を23年度から実施し、継続的に行い、残業時間の短縮に努めている。②議場は現在500Wが22個、250Wが12個の照明灯である。1時間当たり約378円の電気料金となる。LED化については、予算との関係を調整し順次、進めています。



今年も植えました。保健センターの緑のカーテン

木倉地区

人口当たりの議員数は

Q 議員の削減について、人口当たりの議員数は地方自治法で決まっているのか？

A 決まっています。

Q 常任委員の交代はないのか？

A 基本的任期中（4年間）はありません。

嘱託区の統合は

Q 嘱託区の統合について、どうなっているか？

A 区長会などで会議をしていると聞いています。今後、行政がどう決定していくかを見守ります。

Q 広報誌において、一般質問した内容が書き換えられたと聞いた。どういうことか。手直しをする場合は本人に確認すべきではないか？

A 校正作業において質問と答弁のバランスを取るため、文字起こしを行い、町長の答弁を追記しました。

校正の段階で本人に最終確認をとらなかったのは問題ですが内容は本会議で発言されたものです。今後は校正において質問者本人へ確認を行います。

Q 有害鳥獣の販路は？

A イノシシの肉などの販売販路を開拓していきます。

議員の年収は

Q 議員の年収はいくらか。政務調査費などはあるのか。



工事が進む、まちなかギャラリー 9月13日

A 報酬は年額約350万。政務調査費はありません。

Q 減らした目的に、若手の育成もうたわれているが、将来はどうなっているか。

A 具体的には決まっています。これから協議していきます。他町と比較すると 議員報酬や職員の給料は低いほうです。

Q 議員の報酬を上げるなら、職員の給与もあげないと変では？

A 議員も職員も下がっています。（議員報酬については議員間で検討しています。）

町の経済振興は

Q 町の経済振興はどうなっているか。財政を考慮してほしい。新規事業も進めて欲しい。

A 恐竜博物館やギャラリーなど目玉を持っています。地域が盛り上がるよう提案し、区長や行政と進めていきます。

Q 公債費より教育費は少ない。川づくり事業も一般財源が必要と聞く。

国保や介護も上がる。住みづらい町になるのではないかと。

A 何もしないなら、今言われたことは発生しないかもしれないが、農業振興や観光など町として発信していかないとはいけません。整備計画を立てて。みんなで活用できるようにしていきたい。

Q ヤスジマの提訴について、敗訴したら払わないといけなと思うが訴状は見たか。他の会社も見ているのではないかと。

A 訴状は見えていません。敗訴したら、他から出てきます。司法に移っているので、判断を待つ必要があります。5月14日の議会でも詳しい説明はありませんでした。移送の申出をしたために、裁判が延期されています。

御船インターの無人化

Q 御船のインターチェンジの無人化だが、慣れていないので時間がかかる。人がいるようにしてほしい。

A NESCO西日本に無人化した経緯などの説明をお願いしました。



熊本で初の無人化装置が取り付けられた御船インター。9月10日の全員協議会にてNESCO西日本より説明がありましたが有人化に戻す考えはないとのこと。



御船インター。恐竜のモニュメントがお出迎え

議員定数削減は説明不足

Q 議員定数削減について、議会基本条例には広く町民の意見を聞くところがある。減らす前にもっと丁寧に住民に説明してもらいたかった。

A 昨年の議会報告会で議員削減についてアンケートを行いました。平成23年2月には区の代表である囀託委員との意見交換も行いました。その時は議員の改選を控えており、改選後に再度検討するということとしていました。

前任期期間から検討を重ねてきた結果であり、説明不足があったかもしれないかもしれません。ご理解の上ご協力をお願いします。

(意見) 以前、議員はもっと減らすべきだと思っていた。しかし、東北大地震があり考えが変わった。町が早く復興するためには誰かにリーダーシップを取ってもらわなければいけない。役場職員も議員も減らさない方がいいと思う。

Q 議員の削減理由に住民が減っていることをあげられているが、議員は住民を増やす努力はしているのか。

A 議会のなかで、他の自治体の取り組みを示し、定住促進に関する助成金の支給などの提案はしています。

Q 議会広報の議員の賛否の公表がわかりにくい。議案の内容がわからない。

A 議案をそのまま載せている。今後検討したい。

Q はやく3億円を竹資源開発は返してほしい。どのような交渉をしているのか町民にはわからない。議会のなかであやふやな返答が多い。

A 会社に対し催促はしているとのこと。町の情報は正確に町民に伝える必要があります。それを求めていくことも議会の仕事であると考えています。



子ども達の遊び場もあるよ(増成中のふれあい広場) 9月13日

高圧線は大丈夫か

Q 役場前に公園をつくる計画があるが公園とは子ども達が遊ぶ場所なのに道路のそばで高圧線が通っている。大丈夫か。

A ふれあい広場の高圧線の問題等は議会でも指摘しています。九電に問い合わせたところ大丈夫とのことでした。計画の変更はありません。

人口増の取組は行われているのか

Q 社会的弱者が山間部に多い。孤独死が問題になっている。社会的弱者を救済することが人口増に繋がるのではないかと。老々介護の世帯数などを社会福祉協議会などで把握し具体的にどういうふうにまちづくりを行うか考えるべきではないか。

A 山間地域の過疎化対策、高齢者対策など今後も議会として提案していきたいと思います。

タクシー会社がショッピングセンターと提携して買い物商品を配達

Q 御船町で買い物難民はいないか。

A 先日熊日新聞に紹介されたがタクシー会社がショッピングセンターと提携し配達をはじめました。移動販売も週に数回行われています。現在、コミュニティーバスはありますが高齢者はバス停まで歩くのも大変です。今後、公共交通機関の検討も必要だと感じています。

御船町の歴史を知っていますか

Q 御船に何十年も住んでいて御船町のことをあまり知らない人がいる。小さなころから教える必要があるのではないかと。小学生に御船町の歴史を教えるべきではないか。

A (学校教育課) 小学生に御船町の歴史は教えています。御船町教育委員会が作った社会科副読本「みどりかがやく御船町」等を使って社会科の時間や総合的な学習の時間を使って御船町のことについて学んでいます。

(意見) 通年議会で毎月議会が開かれているが盛り上がりがない。議会を傍聴していても退屈だ。あおぞら会議やモニター制度で視察も多いがパフォーマンスではないか。町民を喚起する議会であってほしい。



社会科副読本「みどりかがやく御船町」

里道の払い下げ

Q 里道の管理は地域でしていますが、利用しなくなった里道を払い下げする場合の手続きはどのようにすればいいのか。

A （建設課）里道の管理は平成14年度から国から移管され管理をおこなっています。

里道の払い下げは、公道としての必要性及び利用状況を検討協議のうえ、払下げの可否について判断しています。

※建設課において払い下げ申請手続きを行っていただくことになります。

自然エネルギー

Q 水越小学校の屋根を利用して太陽光発電はできないのか。水越小学校の活用方法はあるのか。

A （社会教育課）旧水越小は、昭和61年建設で26年経過しています。太陽光発電施設に設備投資しても費用対効果が得られない可能性大です。活用については、数団体から問い合わせがあっているが、詳細については不確定であり、利用計画を提出するよう要請している。活用方法については、庁内の施設検討委員会等で基本計画の作成を検討中です。

どうする耕作放棄地

Q 地域の高齢化が進み耕作放棄地が増えている。農地転用の手続きをしないまま植林されたり、孟宗竹の繁殖で日照不足で米の収穫量減少している。無断転用面積、耕作放棄地の面積の調査をお願いしたい。無断転用された場合には、農業委員会から警告等を出して頂きたい。

A 農業委員とおおぞら会議をした時に隣接する畑に植林された木が下の水田に影をして困っているとありました。今後、農業委員と話し合いをする時には伝えます。地元の農業委員に地域の状況を伝えていただいて農業委員会の中で発言してもらってはいかがでしょうか。

Q 高齢化が進み耕作放棄地が増えてきて、イノシシの被害も多くなっています。対策はないか。ほとんどの畑、水田は電柵を設置している。また、サルも多く見かけられる。

A 有害鳥獣対策は、産業建設常任委員会で会議を開いています。多良木町にある、イノシシ・鹿等売る公設の市場の視察も考えています。地域の高齢化が進み耕作放棄地が増えてきて、イノシシの被害も多くなっています。

危険区域指定

Q 水越にも危険区域に設定されている地域があるが、大内地区は設定されていない。危険区域に指定する条件を聞きたい。また、調査がされているか。

A （建設課）危険区域の指定については、県の調査・確認により、県から危険区域として指定されています。

区域の指定については、地域等から町に要望されたケースを県に要望し、県の判断（調査・確認）により危険区域の指定がされています。

無くなった営業所

Q 熊本バスの営業所がなくなったので、屋根付きのバス停の設置はで

きないものか。なぜ御船営業所が廃止になったのか。

A （企画財政課）熊本バスのお話では、これまで借地で熊本バス御船営業所を設けて運営してきたが、老朽化が進み維持管理も厳しく、また、耐震構造にもなってなく危険なため営業所の取り壊しを実施した。解体後、さら地にして、借地であった土地を持ち主に返還した。バス事業者としても、複雑化、多様化する利用者ニーズに対応したサービスの提供、安全確保、環境保全に対して努力をしている。生活交通を支えるバスの輸送需要は減少傾向にあり、社会情勢の変化、軽油価格の高騰、沿線人口の減少と悪環境に陥っており、極めて厳しい運営が続いているのが現状であります。収支の悪化に歯止めがかけられない状況にある。厳しい運営事情のため、新たな営業所の建設計画や簡易的な屋根付きのバス停設置計画もありませんとのことでした。

現在は、バス停の標識だけを置いています。熊本バスの見解は、各バス停と同じく一つのバス停としての位置づけで行くとのことでした。

現在、熊本バスほか関係機関と町で、今後の対応を検討しています。



解体され、さら地になった熊本バス御船営業所

眼鏡橋の復活は

Q 眼鏡橋の石を活かして何か出来ないか？眼鏡橋のミニチュアなど。

A （社会教育課）眼鏡橋復元には莫大な経費が必要であり、復元は難しいです。

その当時、検討委員会で検討したモニュメントの作成も数千万円ということで断念した経緯があります。

現在、町民グラウンド第2駐車場横に流失した石を集積保存していますが、都市再生整備計画の「ふれあい広場」水辺周辺等に活用することを検討中です。また、他場所でもミニチュア橋建設の場所があれば検討します。（場所、方法、資金等）。



眠ったままの眼鏡橋の個々の石

離合も出来ない道幅

Q 六反田の町道が狭い。広くしてほしい。陳情もしている。（下田田見に抜ける道）通学路にもなっている。PTAからも言っているはず。

A （建設課）町道管路者として、道路の改良等については計画的に行っていますが、危険性・緊急性を考え施工しています。町道田見玉虫線は、地形的に道路拡幅は困難であります。通学路は国道445号線の歩道が整備されています。



自転車との離合も難しい道路幅

火葬場の耐用年数は

Q 休憩室も狭い。立て直しの計画は？

A 以前から審議している。火葬場の耐用年数も3年しかない。炉も傷んでいます。

建替えるか、修理するか、広域化するかなど検討中です。



検討が急がれる御船甲佐共同火葬場

この広場の用途は

Q 玉虫団地内に広い土地がある。入居した当初は共同地・避難場所ということで団地居住者で草刈り等していたが、避難場所ではないということだった。建設課にも聞きに行ったが具体的な回答はない。

団地の駐車場にしてほしいと言う意見もある。

A （建設課）当時、玉虫団地住民が公園の管理を行っていたが、最近、管理がされていないため町で整地を行い地域住民（玉虫区・滝尾校区）のグラウンドゴルフ・子供たちの遊び場（サッカー等）・避難場所としての環境づくりを行います。

現在、老人会より公園の利用について相談があつています。



住民にもっと活用してもらえるスペースに！

七 滝 地 区

オアシス民営化による手続きは

Q 老人ホームオアシスが民営化されるが事務手続きはどうなるのか。

A 事務手続きは今までどおりです。

Q 議会の視察受入れが傍聴できるとあるが、視察受入れ日はどのようにして知ることができるか。

A 議会広報紙の「議会の予定」に掲載しています。詳しくは議会事務局までお問い合わせ下さい。

Q 袴野小中学校はどうなるのか。

A 平成24年度末で閉校し子ども達は七滝中央小学校に転校となります。

Q 吉無田高原の「ゆうすげの丘」はどこから行けばよいのか。入場料はあるのか。

A キャンプ場入口から入ることができます。下見の入場料はいりません。利用にあたっては緑の村の入園料が必要となります。

恐竜はPR不足

Q 恐竜に関するPRが不足しているように感じる。があ〜っば祭りとは別に、恐竜祭りなどを企画し、カラオケやひょっとこ踊りなど習い事の披露の場としてボランティアで参加してもらってはどうか。

A 一般質問で議題にしたこともありますが、シンボルロードの開通に合わせ企画してみてもいいと思います。



があ〜っば祭りに恐竜ねぶたが登場

ごみ収集は

Q ごみ収集は1回しかなく、ごみ焼却費用に貢献しているのだからごみ袋を無料にしてもらってもいいくらいだと思う。

A 生ごみ減量のため電気式処理機、堆肥化容器の購入補助制度をご利用ください。

ごみ、火葬、し尿を広域処理での検討を行っており、その中で今後のごみ処理、収集体制も含めた検討を行っています。

Q 他町の人が御船町のごみ袋に入れたごみを、道沿いのごみ収集場に入れている。

分別していないごみなどあり困っている。

A この事例は町内全域で発生していて、持ち込み禁止や不法投棄禁止の看板を配布し掲示をお願いしています。

Q 国道445号線小川野・吹野間と下東上野のカーブはどのようになっているか。

A 国道445号小川野・吹野間については御船・小坂間の改良工事が終了した後、来年度以降に進められる予定となっています。下東上野については県の職員と増永県議とともに現地視察を行っています。

御船町に防災無線がない

Q 先日新聞に載っていたが、御船

町だけが防災行政無線ないとのことだった。区長会でも話が出た。議会でも議論すべきだ。

A 議会でもこれまで度々提案はしています。今後も要望していきます。

Q 北園有水線の今後の計画はどうなっているか。

A 本年度4600万円予算がついています。

Q 北園有水線改良工事の、う回路としている木の末・大平線の修理箇所について、昨年議会報告会で要望し、現地確認してもらい生コンの支給をしてもらうということだったがまだ支給してもらっていない。どうなっているのか。

A （建設課）生コンの準備は昨年度からしているので申請していただきたい。

七滝小を民協委員が視察する。

Q 七滝小学校のトイレの改修、遊具の撤去はできないのか。

A 民生文教常任委員会が7月19日地元区長理事等立会いのもと現地視察を行い、地元から教育委員会に要望書を提出していただくよう伝えました。

3億円の返済は

Q 町がヤスジマから訴えられているがその内容について教えてほしい。

A 4月17日に第1回目の公判が金沢地裁で行われる予定だったが町は熊本地裁での公判を申し入れました。そのことにより第1回公判は延期となっています。

Q 裁判のなかがわかっていないのに議会は可決したのか。

A 応訴しないと負けることになるので可決しました。

Q 町が立て替えた3億円は返ってきたのか。

A まだ返ってきていません。



議会報告会であいさつする餅崎区長

バス路線検討

Q 上野ではバスの運行は思うように無い。町道北園茶屋本線を経由して国道445号にまで延伸をお願いしたい。

A (企画財政課) バスの運行路線延長を希望しています「町道北園茶屋本線」の沿線のバス利用者の人数把握が必要です。路線の延長となると、行政としても、運行距離が延びるのでバス事業者に対しての費用負担の増額が考えられます。

バス事業者としては全体的なバス運行計画の改正が必要になります。

J AのATMが無くなる

Q 上益城農協上野支所のATMを7月か8月に廃止すると話がある。議会からもATMを継続して利用できるように農協をお願いしてもらいたい。

A 報告会后、議会として、申し入れをしました。J A上益城からの回答は以下の通りです。「ATMの利用が少なく、維持管理の費用が掛かり採算に合わないので7月末で廃止する。今後は、郵便局等のATMを利用して欲しい。」

中山間地の難題

Q 上野を含む中山間は過疎化が進んでいます。対策はないか。

A 過疎化対策は、難しい問題です。行政だけでなく皆さんと一緒に考え

ていく必要があります。インターランプを利用して活性化することが大切です。事業等については今後の課題とします。

Q 定住を目的に空家を探されている。空家はあるが中に家具等があり利用が進んでいない。人口も減っているので地域を上げて応援する必要がある

A 執行部から全嘱託区に調査を依頼してあります。

Q 過疎化の対策の一つとしてインターランプを活用して産業の掘り起しや、農産物の加工所、販売所を作るのはどうか。

A 今年度は40億円の予算がついているので工事は進むと思います。山都町まであと5～6年かかるということです。開通すれば吉無田高原の活性化にもつながります。

グラウンドの利用は

Q 旧七滝中学校の体育館及びグラウンドは、地域の健康増進の場として利用されている。今後の活用についてはどうか。横にある杉の木を伐採してはどうか。

A (社会教育課) 上野社会教育センター(旧七滝中)グラウンドは、当面、グラウンドゴルフ等の社会体育施設としての利用を考えています。体育館が、老朽化に伴う危険施設と

なった場合、解体する予定ですが、その時点で地元との協議をする予定です。

現在、管理を上野地区体協に依頼していますが、成長した杉の枝等の伐採については、町予算での対応を検討したいです。

孟宗竹の脅威

Q 農振地に隣接している田畑に植林された木は大きくなり、孟宗竹が繁殖して迷惑をしている。適正に管理するように広報等に記載してもらいたい。

A 4月の改選で上野地区から3名農業委員が選出されました。相談しながら解決していきたいと思います。

サイレンがサイレント

Q 上野公民館に設置してあるサイレンが鳴らない。火災等の緊急時に困っている。

A 議会からも担当課をお願いします。地域からも申請書を再度出して下さい。

命の水ファームポンド

Q ファームポンドの建設はどうなっているか。

A 産業建設常任委員会では、事業主体は県になるので県に要望書を出すことになりました。議会で承認されたので土地改良区と担当課と協議して要望書を出すように依頼しています。

土地改良区において、今後の建設予定地の関係者に説明しながら慎重に進めていきたい。



陳情を受け審議中の産業建設常任委員会

議員定数削減は説明不足

Q 議員定数の削減で、議会基本条例には「広く市民の意見を聞く」とあります。減らす前にもっと丁寧に住民に説明して欲しかった。

A 昨年の議会報告会で議員削減についてアンケートを行いました。23年2月には区の代表である嘱託委員との意見交換も行いました。その時は議員の改選を控えており、改選後に再度検討するということとしました。

前任期間から検討を重ねてきた結果ですが説明不足があったかもしれない。ご理解の上ご協力をお願いしたい。

Q 議員定数削減の理由に、若手の出馬を促すとありますが具体的にどういうことか。

A 議員を2人削減すると報酬額が約700万削減されます。その一部を報酬などのアップに繋げたいと思います。議員報酬で生活していけるようにし、若い人が手をあげられるような環境づくりをしたいと思います。

若手が議員に 手をあげられるのか

Q 大都市であれば地域のしがらみもないが、御船町のような小さな町は地域のしがらみも強く若手が議員に出るのは難しいのではないか。

若い人が出やすい環境づくりが必要で、議員定数を削減すれば逆に若い人が出にくくなるのではないか。

A 議員定数問題は、選挙直前ではなく、選挙前の早いうちに結論をだし、周知し準備ができるように昨年の改選直後から特別委員会で速やかに検討を始めました。

若い人が議論する場がない

Q 若い人がいろいろな意見を言って議論する場が御船町にはない。

A 例えば、消防団員の確保が難しいという意見もありますが地域によっては増えているところもあります。

地域の活動を一緒に進めてきたところもあります。

議員は話を聞くのが下手

Q 議員は人の話を聞くのが下手。聞くだけで実行しないのでは。

A 議会報告会などで意見を聞いていると考えます。

テーマを決めて行う「おおぞら会議」なども利用していただきたい。

Q 議会報告会を毎年開催していますが参加者が減少しています。議会からの呼びかけの取り組みはどうしていますか。

A 嘱託員定例会に出向きお願いしています。

遊具がない小学校

Q 山間地の子供も減っているとのことだが、御船小学校の児童も減っている。御船小学校を魅力のある学校にしなければいけないと思っている。現在、遊具が少ないので増やしてほしい。

A 小学校の改築が当初の設計から変更された関係で敷地が狭くなっています。そのため、給食センターも現在候補地が7か所あり、9月頃までに決定される予定です。

遊具の設置は、新しい遊具を増やす方向で現在、検討しています。

Q 最近、交通事故に巻き込まれる子どもが多いのでスクールゾーンなどを設けほしいがどこにお願いすればよいか。

A 遊具、スクールゾーンともに教育委員会に問い合わせていただきたい。

議会への要望

(要望) 議会報告会の参加について、議員が一人ひとり地域の人に呼び掛けたらどうか。議会は受け身ではダメだ。消防の会議に行き団員の声を聞いたらどうか。もっと住民に目を向けてほしい。

(要望) 一般質問の動画配信をインターネットで見ることができるとが録画ではなく中継を検討してほしい。

(要望) 新聞報道のあった(竹バイオマスの補助金関係の)書類送検の件はどういったことか。裁判の件についても執行部は明確な回答をしてほしい。

(意見) 議員定数と報酬について御船地区のグループであおぞら会議を開いた。その時は定数削減に対する意見が多かった。



児童の減少にある。遊具も少ない新築された御船小学校

特定健診 受診者の増加策に表彰制度を

民生文教常任委員会

あおぞら会議とは!!

町民からなるグループや団体から提案されたテーマに基づき意見交換を行うもの。お申し込みは議会事務局まで。☎282-1386

福祉の現状を知って

8月27日、公民館御船分館で、民生文教常任委員会とみふね絆塾とのあおぞら会議がありました。

みふね絆塾は、24年4月に上益城地域振興局や前の滝下民生児童委員長の支援を受け、発足しました。会員は公民館御船分館長や区長、民生委員、NPO法人などで構成されています。

会長の中村幸雄さんは「町の議員は福祉問題にも深くかかわって行くべき」であり、そのために、「地域における福祉の現状などを知ってほしい」と。会員も「会として何ができるか模索中です。」今日はお互いの思いなどを出してほしいと話された。

保育園に入園できない

問 町外に住む孫を4月から預かっていますが、保育園に預けようと思っても、「今年の4月から、町外からの入園はできない」と断られ、困っています。それまでは入園できたのですが。

高木保育園の横に21軒家が建ちます。しかし、そのような状況では受け皿がないのでは。

答 町外からの入園ができないのはなぜかわりません。昨年までは入園できていたはずです。たぶん、保育園の定数の関係ではないでしょうか。調べます。

介護費用も大きい

問 老人も多くなっています。認知症や介護が必要で施設などを利

用する機会が増えています。しかし、施設が不足しているので、充実をさせてほしい。

答 地域密着型サービスや複合型サービスなど町内にも作ることができます。町の「地域福祉計画」の中にあげてあるとおもいます。

問 介護費用が大きくなってきています。町では医療にかかる費用の割合が高いのでは。

答 医療費が高いのは特定疾患患者が多いのも一因でしょう。

検診率の増加を

問 健康診断を受ける人が少ないようです。受診率をアップさせるために、表彰など考えてはどうですか。

答 受診率は40%くらいです。早期発見のためにも受診増加対策対策が必要です。

問 町には社会福祉協議会がない校区があります。御船小学校区にもありません。

答 現在は七滝と田代、木倉に社会

福祉協議会があります。この校区社協を中心とした活動が充実しています。公民館活動とあわせた社協を作る必要があると思います。

問 老人ホームが民営化になります。入所者が安心して移れる策を講じてほしい。

答 町と事業者と事前協議などを行い十分な措置をしています。

問 町にはグループホームなどの施設が少ないので増やしてほしい。30分以内で通える施設などの地域包括ケアを充実させてほしい。

答 趣味を生かした活動ができる高齢者の居場所作りや小規模特別養護老人ホームの増設などを図りたい。

この他に「この公民館は明治21年に建設されており建築後145年になります。町の文化財として指定はできませんか。」や「町の福祉を充実させるために社会福祉協議会がもっと主導権をもって活動できるよう働きかけてほしい。」などの要望もありました。



「地域における福祉の現状を知ってほしい」とあいさつされる中村会長



集まるのが楽しい、元気クラブ

「なーん、年寄りだけんちーった、まちごうたつちやよか」と「うきうき体操や替え歌」などで今年も「緑力の郷まつり」に参加を決めたときの話。

17年から田代西部校区元気クラブが毎月第一、第三水曜日に開かれている。会員は現在27名。ほとんど全員が参加される。サポーターも8名おられ大きな声で、「イチ、ニ、イチ、ニ」とリズムをつけられていた。

13時30分からの開始だが、13時過ぎには多くの方が血圧測定や簡単な問診を受けて居られた。皆さんこの日を楽しみにしておられるようだ。

座女木の鶴野亘さんは介護サポーターをされており、6年前から元気クラブの指



座女木
鶴野 亘さん

ボールを持ちストレッチング



導もされている。「体操やレクレーション、講和など2時間があつという間に過ぎます。年4回は外部講師を招いて歯の健康や熱中症対策などの話を聞いています」

中野や木戸屋、玉来の一部は社会福祉協議会からの送迎車も運行される。

フルートの生演奏に満足

滝尾の竹の迫地区で9月22日「敬老会」が開催された。この地区は22世帯、約50人が生活している。

高齢化率も50%ほどと非常に高い。会の内容は盛りだくさんで、「認知症の予防と対策」についての講演、

御船高校美術専攻の2年生6名による「似顔絵描き」、フルートアンサンブル「虹」(平成音楽大OG)による「演奏会」もあり、来場者も非常に満足だったようです。



御船高校生による似顔絵描き

議会の予定 10月

- 5日 視察受入れ(福岡県広川町議会・熊本県氷川町議会)
- 10日 金婚式
- 16日 視察受入れ(宮崎県臼杵郡議会事務局職員)
- 19日 御船地区衛生施設組合議会
- 27日 上益城郡保育大会
市民と議員の条例づくり交流会議 in 九州
- 30日 上益城広域連合議会研修～31日
- 31日 広報編集常任委員会研修～11月1日

編集後記

5月に開いた議会報告会。参加者が前回より少なかった。この報告会は議会の活動状況を知らせるのが目的である。

3月議会で審議した24年度の町予算に関する報告。町民の方々からすれば、「ここをもうちょっとどうにかして」と注文をつけたくなる。しかし、現実には執行権のない議員。答弁が苦しくなる。

熱心な町民の方が2、3の会場で足を運ばれ、前の会場での質問と同様の質問をされる。時間が足りない。御船の会場では御船の人が発言できなかった。

この報告会は続けなければならぬ。より多くの町民の方に参加いただくように、テーマを決めたり、世代を分けたり、開催方法を一考せねばならない。

佐藤俊明

議会広報編集常任委員会

発行責任者 岩田 重成
委員長 田上 忍
副委員長 山田 五郎
委員 佐藤 俊明
委員 田中 隆敏
委員 永山 和人
委員 増田 安至